

1 人権尊重に基づく男女共同参画の意識づくり		
対象事業	現状・課題	意見
・事業番号1 人権教育、家事能力向上・家族の役割と責任の学習	・中学校において、家庭科の授業の中で保育学習を行っている。	・赤ちゃんとのふれあい教室を市内の全中学校で開催してほしい。(子育てを学ぶ機会が少ないので、子どもにとって貴重な経験になる。また、赤ちゃんを連れてくるお母さんにとっても地域の中学生と交流できる良い機会になる。)
・事業番号2 出前講座・講演会の開催	・30年度は老人クラブ連合会からの申込があり、1件実施した。	・件数が少ないので、増やすような取組が必要である。
・事業番号8 土日や夕刻等開催日時の配慮／託児の実施	・ファミサポ、シルバー人材センターなどに依頼して、集団託児を実施している。	・子どもを預けてセミナーに参加することで、セミナーに集中でき、気分転換にもなるので、セミナーの際の託児は継続してほしい。
・事業番号10 男女共同参画週間等における特集／男女共同参画関係法令の普及啓発・関連事業のPR／各種啓発資料の作成・配布	・市報やHPを活用し、啓発を行っている。	・「男女共同参画」というネーミングが堅苦しい。親しみやすいキャッチフレーズやキャラクターがあると良い。
・事業番号47 母子保健事業の推進	・母子保健推進委員が高齢化しており、委員の人前にも苦勞している。	・母子保健推進委員は高齢の方が多く、現在の子育て世代の方と育児方法の隔たりもあるので、子育てが終わったばかりの若い世代が委員になってくれるような取組が必要である。